

みんなの健康ラジオ

『整形外科領域におけるPRP治療』

(2024年4月4日放送)

横浜市整形外科医会

横濱松宮整形外科

リハビリテーションクリニック

松宮 基英

先例のあるPRPの適応例

Soft tissue

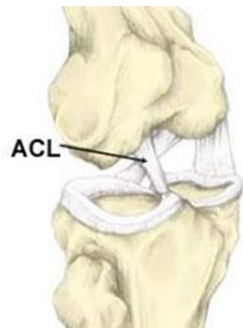
保存療法

- アキレス腱
- **テニス肘**
- ジャンパーニー
- 足底腱膜炎
- 肉離れ
- AITFL
- UCL
- 半月板
- 手根管症候群 等



術中利用

- ARCR
- ACL
- 半月板縫合
- 距骨 骨軟骨損傷
- 人工関節 等



- **膝 OA(変形性関節症) KL I~III**
- 足 OA
- HIP OA 等



赤字は既存治療法に対する有意性が示されたLevel 1 Studyが多数ある。

現在、保険適応はなく自費診療となる。(4万円~20万円)

PRPの種類

- PRP

LP-PRPとLR-PRP

	ACP(LP-PRP)	GPSⅢ (LR-PRP)
血漿成分	含む	捨てる
血小板	全血の約2倍	全血の約6倍
白血球	殆ど含まない	大量に含む (全血の約5倍)
赤血球	殆ど含まない	多少含まれる
抗凝固剤(ACD-A)	基本不要	必要
遠心時間	5分	15分

その他PRP-FD(フリーズドライ 成長因子が高度?)

APSなど(高濃度の成長因子に加えて高濃度の抗炎症性物質が含まれている)

PRPの問題点

- まだ確立された治療ではない。
- 保険適応がない。
- 自費診療となるため、各病院により値段にばらつきがある。
- 厚生労働省の認定をとるのに一苦労。
- 毎年の厚生労働省への定期報告も必要。
- 治療効果が安定しているとは言えない。
- メディアなどで、効果を増強して伝えられている。

当院でのPRP治療

- 片側4万円、両側7万円(利益はほぼなし)
- 有効率は概ね60%程度
- 患者さんからすると高額な割に治療効果については安定しない。(40%は無効)
- 痛みが0になった患者さんも少なからずいる。

今後のPRP治療からの発展

- 今までではなかった選択肢で、今後発展すると思われる再生医療の入口。
- 現在は脂肪細胞治療などPRPを皮切りに少しずつ再生医療の発展段階。
- 今後、更なる再生医療の発展が望まれる。